

Essay In My Life

地名アクセントと東北地方

～大丈夫です、理に叶ってます～

シンキング・バーズ
日本語研究班

決まりはないけど 差別はやめようね

●地元アクセントに注目？

最 近、地名の地元アクセントや発音がテレビで取り上げられるようになりました。「茨城」は、「いばらぎ」ではなく「いばらき」と、あるドラマが強調していました。愛知県の岡崎は、「おかざき」ではなく地元では「おかざき」なのだそうです。ワタシの体験では、群馬県の前橋は、地元では「まえばし」、東京では「まえばし」でした。

東北地方に住んでいるワタシたちは、共通語アクセントとはちがう地元アクセントにたくさん出会います。地名も例外ではありません。そのアクセントは昔から、「訛ってる」とか言われて見下されて来ました。でも、少し丹念に調べてみると、意外なほど理に叶ったアクセントが多いんですよ。

●理に叶った東北地名アクセント

例 えば「秋田」「青森」は、「あきた」「あおもり」が共通語アクセントです。でも、地元には「秋田県」「青森県」と言う時の「あきた」「あおもり」が残ってます。「あきた」「あおもり」に「けん」をつけて話してみましょう。変でしょ？ 「あきた」「あおもり」は、ある意味では自然なアクセントなんです。仙台は「せんだい」より、英語読

みの「Sendai (センダエイ)」の方が古いアクセントに近いかもしれません。

岩手県に宮古という市があります。「みやこ」が

共通語ですが、古い地元アクセントは「都(みやこ)」です。「都」を「みやこ」と読む方が、むしろ不自然とは思いませんか？

気仙沼には、「沼」の「ぬま」のアクセントが生きていました。「けせんぬま」じゃなく「けせんぬま」です。ちゃんと「沼」のアクセントが生きてますよね。「ぬま」を改め、「ぬま」とちゃんと言いましょう。

大船渡は、「おおふなと」じゃなく「おおふなと」です。「おおふな(ね)・わたり」と読んでみてください。多く的人是たぶん、「わ」か「な(ね)」にアクセントがつくと思います。少なくとも、「ふ」にアクセントはつきませんよね。神奈川県の大船を「おおふな」と言ったら、やっぱり変でしょ？

そのほかは、次の機会にします。



●アクセントのちがいで差別しない

地 名アクセントは、ニューヨークが「ニューヨーク」でも「ニユーヨーク」でも良いように、正しいアクセントなんてありません。ナンでも良いっちゃ、良いんです。「ロンドン行って来た」「ロンドン？」の二つのロンドンだって、アクセントはちがいます。でも、ひとつだけ言えるのは、アクセントのちがいで差別し合わないことです。

シンキング・バース新書

ボクとワタシの日本語診断
地名アクセントと東北地方

2017年8月1日（初版）発行

著者：シンキング・バース
日本語研究班

発行者：遊佐 芳泰

発行所：**シンキング・バース**

〒021-0821

岩手県一関市三関字神田105番5号

電話／FAX 0191-23-0724

※この論考の著作権は、図表を含めてシンキング・バースに帰属しています。複写、無断転載、無断転用は固くお断りします。